



卓 話

クラブ協議会

☆梶浦 紀子会長

今年度のRIのテーマである「Rotary Shares」、つまり「ロータリーは分かち合いの心」と浅川ガバナーのまず「楽しく魅力あるクラブ」ありきというテーマを受け、四谷ロータリークラブのテーマにしました。私達のクラブは23年目となり、会員総数61名の年齢は39歳から79歳、職業分類は54業種に分けられ、世代・職種の異なる会員から構成されています。こうした会員の皆さんが共有できるものはただ一つ、ロータリーの目的である「奉仕の理念」、「奉仕活動の実践」です。奉仕の理念とは、科学的かつ道徳的な経営方針によって自分の事業の発展を図るとともに、業界全体のモラルを高めていくという職業奉仕の理念です。そしてもうひとつ、他人の事を思いやり、他人の為に尽くすという国際社会を含んだ対社会的奉仕活動、社会奉仕の理念です。この2つの理念による奉仕活動の実践と活動は、ご自分の事業の実践とクラブの奉仕活動の実践につながります。この目的意識の向上を再認識する事によって、会員同士により強い絆が生まれます。奉仕活動に積極的に参加できるという体制をつくり、30周年にむけて品格のあるクラブづくりを目指していききたいと思います。

☆カイテル・ハルトムート副会長

キャビネットを応援して頑張っていきたいと思っています。

☆曾我 祐二郎クラブ奉仕委員長

本日第1回の理事会があり、過去に出席した時と比べ緊張感を持って参加し皆さんの色々な意見を伺いました。役員、理事の方々に納得して頂ける様な活動をするという事が自分の役目だと思っています。皆さんにお渡ししたクラブ計画および活動報告書概況に書いてあるように、本年の変更部分として、クラブ奉仕を構成する出席、親睦、ニコニコ、ソングリーダー、会員増強、プログラム、会報、全てがクラブ奉仕を支えていくという事があげられます。そして一致一丸となって協力体制を持って下さいとご用命を受けております。どの様にしたら楽しく魅力あるクラブライフを過ごせるかを梶浦会長の基本的な考えとして、奉仕

について、そしてロータリー財団について、ロータリーをもっと知ろうではないかと考えています。例えば色々な形でお金が使われていますが、それがどう使われているかを勉強し、理解した上でこうした活動に協力をしようと思っています。又、納涼家族会など、会員、配偶者だけでなく、お孫さん、お子さんにロータリーに参加してもらい、ロータリーの良さを分かってもらう事も考えていきたいと思っています。

☆武田 京子会計

今回で会計担当が3回目となりますので、少し余裕を持ち、同じ女性として精神的にも梶浦会長をサポートできましたらと考えています。

☆麻生 信次郎SAA委員長

SAAは縁の下の力持ちという役割なので、皆さんのご協力を頂き、楽しく務めていきたいと思っています。

☆渡邊 克枝出席委員長

1人でも多くのご出席を期待しております。

☆廣本 慶一親睦活動委員長

右も左も分からないまま親睦委員長を務める事になりました。皆さんに助けてもらわなくてはならない立場にありますので、是非会に多くの方が出席して頂けますようご協力をお願いします。例年4回の移動例会、イベント等を予定していますが、今年度のテーマとして、会員だけではなくそれを支える奥さんやお子さん等、家族との交流という事を考えています。その第1弾は納涼家族会です。又前藤原委員長の時からの方針ですが、引き続き毎月1回は親睦委員会を開こうと思っています。そこに親睦委員だけではなく皆さんご自由に参加をして頂き、意見を伺えたらと考えています。

☆小林 久子ニコニコ委員長

会員が61名いますと楽しい事だけではなく辛い事もありますし、悲しい事もあると思います。でも仲間同士、沢山でなくてもいい、ちょっとの気持だけでも出しあえれば悲しみも喜びも分かちあえると思っています。一年間宜しくお願いします。

☆廣嶋 澄雄ソングリーダー委員長

例会のはじめに歌を歌う事は本当に良い事だと思っていますが、指揮をしていて声がまだ少ないと物足りなく思っ

ています。特にロータリーソングを歌う時は大きな声で歌い、心をつににするハーモニーをつくって頂ければ、会もより楽しくなっていくと思います。

☆横山 公樹会員増強委員長

会員増強はクラブの財政だけの為にあるという事では困ると思っています。是非皆さん、素晴らしいお友達がいらっしやると存じますので、四谷ロータリーをいきいき活発にする為にご協力して下さい。

☆坂本 武司プログラム委員長

ロータリーの活動の原点は、週1回集まって楽しく話し、元気な顔を見せ合う事だと思います。その為には皆さん出席しなくてはなりません。そして年間40~50回ある例会を盛り上げるのは卓話ですので、聞いていて楽しく有意義な卓話を積み重ねていきたいと思っています。8、9月は卓話の予定が埋まってきていますが、皆さんにご協力頂いて、良い話ができる人を紹介して頂ければと思います。

☆関根 修会報委員長

梶浦会長の希望により「ロータリーの友」を有効に生かそうとの事で、内容・読みどころの報告をして頂き、その事を週報に載せますので読んで頂きたいと思っています。それから週報に今期から出席者とメイクアップの方の名前も載せます。他の出席者を知る事が自分も出席しようというきっかけとなり、出席率の向上に繋がればと思っています。

☆酒井 宏人社会奉仕委員長

社会奉仕委員会は今年度から2つの委員会ができました。一つは青少年育成委員会、もう一つは環境保全委員会で、出井委員長、佐々委員長と一緒に活動をする事になっています。特に四谷中学とタイアップし、俳句コンクール、防災訓練、野球教室等、力を入れていきたいと思っています。又前委員長の方々が培われてきた活動なので、ご指導を仰ぎながらやっていきたいと考えています。

☆出井 武泰青少年育成委員長

今年度より新設されました。酒井社会奉仕委員長と共に俳句の会、防災訓練、野球教室等を執り行い、酒井委員長の手足となって頑張っていきたいと思っています。

☆安田 望職業奉仕委員長

私の方針と活動計画はクラブ計画に書いてあり、読んで頂ければと思いますが、一つだけ強調しておきたい事があります。先日来より報道のあるミートホープ事件の社長は、苫小牧ロータリークラブの会長であったことがあります。あの事件は我々の職業奉仕の理念とは対極にあると思っています。我々は色々な場で勉強し、理解しているのに、何故この様な事件が起こったのかと考えていた折り、電車の中で携帯電話はマナーモードにして使用を控えて下さいという車内放送にもかかわらず、私と同年輩位の方が

携帯電話で話をしている場に居合わせました。そこでこういう事かと思ったのです。私達は聞いているにもかかわらず、その場の状況によって、全く違う行動をとっている事があります。職業奉仕委員長を任されたので、我々の良い理念を頭で理解するだけでなく、行動に移せるような一助になればと思っています。

☆鯉江 園子国際奉仕委員長

ロータリー財団委員会、米山奨学委員会、青少年交換委員会、世界社会奉仕委員会、対人地雷委員会の5つの委員会をまとめているのが国際奉仕委員会です。ロータリー財団の小林俊委員長、米山奨学委員会の大野委員長、青少年交換委員会の辻委員長、世界奉仕委員会委員長の牧野委員長をサポートする立場にあります。そして梶浦会長のもと、分かち合いながらロータリーらしい国際奉仕ができればと考えています。梶浦会長はWCSの委員長も経験しており、その方面ではエキスパート中のエキスパートですので、会長の意向を聞きながら進めていきたいと思っています。

☆小林 俊三ロータリー財団委員長

先日ロータリー財団について半日の講義を聞いてまいりました。ロータリー財団委員会は寄付ばかりを求めているようですが、実はそうではない、素晴らしい事を沢山やっているという話を伺いました。私達の活動の為にもロータリー財団から寄付を頂いています。例えば四谷中学校へのテントの寄付はその一例です。又ロータリー財団は留学生を派遣しています。青少年の若い人だけではなく大学を卒業して3年程経った方も派遣しているという事で、オランダに派遣されたテノール歌手の方からお話を伺いました。まだ知らない事が多いので、又講義を聴いて理解したらご報告したいと思います。

☆辻 明信青少年交換委員長

8月末に岩崎美帆さんがイタリアに留学します。ところがイタリアの受け入れ側から何の連絡もなく、何も分かっていないという現状です。本人は大変不安がっている様子ですのでしっかりサポートしていきたいと思っています。

☆大野 雅樹米山奨学委員長

今年は残念ながら当クラブに派遣がありません。米山奨学制度は日本独自の制度です。私も勉強不足なのですが、10月頃には米山奨学制度のポイントをまとめたペーパーをつくって皆さんのご理解を得たいと思っています。

☆牧野 武志世界社会奉仕委員長

梶浦会長に何はともあれついてきなさいと言われたので、会長と国際奉仕委員長に従ってやっていこうと思っています。

☆藤原 博幹事

この1年梶浦会長を支えクラブの為に奉仕する覚悟です。ご指導ご協力宜しく願致します。